

子どもの心と大人の知恵を大切にする学校臨床力

山下 一夫
(鳴門教育大学)

はじめに

角田ら(2016)は、子どもを育てる教師の力量として、新たに「学校臨床力」を提案している。これは、「生徒指導・教育相談」「特別支援教育」「進路指導・キャリア教育」に基づいたもので、「人間関係に開かれた理解力や実践力(集団対応力・個別対応力)であり、学校現場で『子どもに何が必要か見立て、かかわる力』と定義」している。本小論では、この学校臨床力に関連する文献をいくつか取り上げたい。

1. 臨床の知

中村(1984・1992)は、「近代科学の知」に対し「臨床の知」の特色を次のようにをまとめている。①相互主体的かつ相互行為的にみずからコミットする。②個々の事例や場合、状況や場所(トポス)を重視する。③総合的、直感的、共通感覚的である。他者との間にいきいきとした関係や交流を保ち、表面的な現実だけではなく深層の現実にも目を向ける。

2. 臨床心理学

臨床の知について中村と相互に影響しあい、それを実践したのが河合(1970・1994・1995)である。河合は、「臨床心理学」は心理学(近代科学)の応用学問ではなく、その独自性と資格問題を追究した。そして、事例研究や事例検討会を重視した。さらに河合(2002)は、教育学の人たちと協力し「臨床教育学」も創設した。

3. 生徒指導の知

山下(1999)は、臨床の知の一つとしての「生徒指導の実践的な知」において、「目の前のその子ども(その人)と自分自身、そしてその二人の関係、さらに二人をとりまく人々や環境、あるいは時の流れも考慮し、自らが自らの答えを求める行為」を重視している。

そして、「人間は依存と自立を繰り返すことによって円環的・らせん的に成長していくことを『依存と自立のサイクル』と名づけ、・・・自立面で問題がある子どもに対し、教師は自立を促すまえに、依存できているかについて検討する必要がある」と述べている。

4. スクールカウンセラー(SC)の専門性

山下(2009)は、お互いにプロである教師とSCとの連携について論じている。そして、SCの専門性として、①カウンセリングができる、②保護者や教師に子どもの心理的状态を説明できる(ある程度の見立て、手立て、見通し)、③人間関係の調整役を担える、以上の3つを挙げ、これらは相互に密接に関連し合っており、結局、「人と関わる力」と述べている。

5. 手のひら論

丸山（1961）は、日本の思想のあり方をタコツボ型とササラ型に分類し論じている。これをもとに、山下（2011）は、思考様式や社会組織、文化などについて、指、手のひら（ササラ）、げんこつを判断基準として論じている。それぞれの指はタコツボ的であり独自性や専門性を表しているが、手のひらで象徴されるように共通項や連携しているかが大切である。

例えば、心理療法について考えると、各療法や理論は指に相当するが、それぞれの療法や理論に共通する手のひらの部分は、人間性であり、共感性や社会性や安定性や省察や基礎的知識などである。

おわりに

子どもを育てる教師の力量としての「学校臨床力」、及び「臨床の知」「臨床心理学」「生徒指導の知」「人と関わる力」などについて簡単に述べてきた。

しかし、教師自身、カウンセラー自身が、自分のことを幸せと思えていることが大事である。「大人は大変だけれども、やり甲斐があるよ」とか、「大人っていいな、人間っていいな」などということ、子どもたちに発信していかなければならない時代ではないか（山下・2007）。

文献

- 角田豊・片山紀子・小松貴弘 2016 子どもを育む学校臨床力：多様性の時代の生徒指導・教育 相談・特別支援 創元社
- 金井壽宏 2005 リーダーシップ入門（文庫） 日本経済新聞社
- 河合隼雄 1970 カウンセリングの実際問題 誠心書房
- 河合隼雄 1994 著作集第3巻：心理療法 岩波書店
- 河合隼雄 1995 著作集第12巻：物語と科学 岩波書店
- 河合隼雄 2002 著作集第2期第5巻：臨床教育学入門 岩波書店
- 丸山真男 1961 日本の思想（新書） 岩波書店
- 中村雄二郎 1984 術語集：気になることば（新書） 岩波書店
- 中村雄二郎 1992 臨床の知とは何か（新書） 岩波書店
- 山下一夫 1999 生徒指導の知と心 日本評論社
- 山下一夫 2007 子育てにおけるやさしさと厳しさ 中京大学臨床心理相談室紀要, 7, 1-14
- 山下一夫 2009 学校臨床における基本姿勢 日本臨床心理士会（編） 臨床心理士の基礎研修 創元社 pp.123-142
- 山下一夫 2011 『心の教育』を考える。 専門と連携：タコツボ、ダンゴ、手のひら論 京都大学大学院教育学研究科附属臨床教育実践研究センター紀要, 14, 20-25